



医療における難しい用語解説集!

よく聞けけれど、実は意味がよくわからない用語はありませんか? 特に、昨今の新型コロナウイルス感染症報道などでは、医療用語や言葉がたくさん使われています。正しく医療を理解するために、ぜひご参考になさってください。



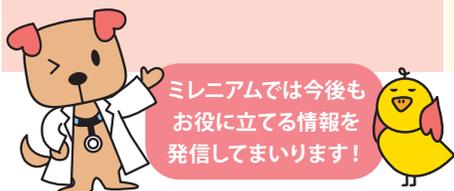
新型コロナウイルス報道でよく耳にするようになった用語

WHO (World Health Organization/ 世界保健機関)	1948年に設立された国連の専門機関。「すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的として設立されました。(本部はスイス・ジュネーブ)
パンデミック	感染症や伝染病が世界的に大流行する状況をいいます。
エビデンス	「証拠」という意味。薬や治療法、検査方法など医療の内容について、それがよいと判断できる証拠という意味です。
ガイドライン	病気の標準的な診療の目安。病気に対して学会での研究をふまえて作られた、診療の目安のことです。
合併症	ある病気が原因で発症する別の病気のことです。例えば、糖尿病が原因で脳梗塞や心筋梗塞になったり、高血圧の合併症で脳卒中になる、などがあります。
対症療法	病気によっておきている症状をやわらげたり、無くしたりする治療法で、病気そのものを治す療法ではないことをいいます。 ※ 対症療法とは対照的な意味にある「根治療法(原因療法)は、病気の原因を取り除くことにより、根本から治すことを目指した治療法をいいます。
ちけん 治験	新しい薬を開発するために、人で効果や安全性を調べる試験のことです。



薬に関すること

とんぶく 頓服	決められた時間ではなく、症状がひどいときに飲む薬のことをいいます。「頓服=鎮痛剤や解熱剤のこと」、とされている方もいらっしゃいますが、誤解です。
たいせい 耐性	同じ薬をくり返し使うことで、細菌やウイルスが薬に対して抵抗力を持つようになってしまうことです。 ※これまでに効いていた薬が効かなくなります。
副作用と副反応	副作用とは、病気を治すために使った薬による、目的とあっていない働きのことです。例えば風邪薬を飲んで、眠くなった場合は、「眠気」が副作用です。 副反応とは、ワクチンの予防接種によって起こる、望んでいない反応のことなので、「薬の場合は副作用」「ワクチンの場合は副反応」といいます。



ミレニアムでは今後も
お役に立てる情報を
発信してまいります!

参考文献:「大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所『病院の言葉』を分かりやすくする提案」「厚生労働省:日本とWHO,WHOの概要/インフルエンザパンデミック参考資料」「国立感染症研究所感染症情報センター:インフルエンザ・パンデミックに関するQ & A」